

様式第2号(第10条関係)

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

平成28年度第1回宇目地域振興審議会

2 開催日時

平成29年3月24日(金) 14時00分から16時30分まで

3 開催場所

宇目振興局宇目振興局 研修室(3階) (佐伯市宇目大字千束1060番地1)

4 出席者

委員：伊藤 英子、佐保和広、宮崎晴子、上田フジ子、佐賀良育広
委員10名中5名出席

九州大学

比良松准教授 江口准教授

※市職員：宇目振興局長 今山 勝弘

地域振興総括主幹：橘 公展

副主幹：佐藤 栄伸

佐伯市市役所 総合政策課 竹中大輔

地域おこし協力隊：津田 裕子

5 公開、非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

(1) ・平成28年度佐伯市活性化チャレンジ事業経過報告について

地域振興課 佐藤副主幹より28年度宇目管内の採択された4事業について、採択事業一覧表に基づき事業内容とその効果について説明がなされた。資料として事業概要や決算金額についても添付して説明を行った。

質疑としては、伊藤委員よりホオズキツリーの来場者数についての質疑があったため、橘事務局より12月17日の点灯式において200人、12月23日の市の市において200人、昼間のイベントにおいて1,000人程度の集客があった旨説明した。併せてマスコミ各社からの取材を受けたことも報告した。

(2) ・平成28年度佐伯市地域創生支援事業（宇目地域活生支援事業）経過報告
について

予算の執行状況について橘事務局より説明

支出の部において事務局費3,024円 研究成果実践事業として396,221円 域学連携委託事業としては600,756円の支出があったことを説明。
収入合計1,000,001円 支出合計1,000,001円となった。

委員より特に質疑なし

○域学連携委託事業の取組内容については九州大学の比良松准教授より説明
宇目地区の現状調査

2016年11月17~18日、12月23~24日、2017年1月9~10日、2月1~3日（計4回、9日間）

【課題】宇目地区の資源価値が他地域の人にどれくらいの理解されているか？

- ✓ 宇目とその他の地区の相互理解が不足している（市中心エリア10名に対するランダム聞き取り調査の結果、エコパーク認知度はゼロ）
- ✓ 宇目の豊かな多様な資源に対する評価と若手世代への教育や伝承の機会が不足（組織研修WSにて）

【高校生エコツアー】

- ・ 開催日 3月5日（日）10:00-18:00
- ・ ルート 市役所→道の駅宇目（薪割り体験）→矢野さん宅で郷土食→藤河内溪谷自然体験→道の駅宇目で振り返り→市役所
- ・ 参加高校生 鶴城高校4名（1年生2名、2年生2名、男子3名、女子1名）、地域おこし協力隊2名、九大決断科学プログラム学生1名、教員2名

詳細については別紙資料参照

来年度以降についても引き続き九州大学との域学連携に取り組むことを事務局より提案したところ委員参加者全員からの賛同を得ることができた。また、委員の多くよりこのような発表はもっと多くの人に聞かせるべきとの意見もあり今後の課

題となった。

(3) その他

平成28年度宇目地域振興課関係補助事業の報告について

宇目地域における農林工務関連及び建設課関係の事業実施について説明するとともに大分県関係の県道・砂防等の事業についても報告を行った。

8 会議の資料名一覧

議題1 関連

- ・「平成28年度佐伯市活性化チャレンジ事業(宇目地域)採択事業取組一覧表」

議題2 関連

- ・平成28年度佐伯市地域創生支援事業(宇目地域活生支援事業)決算見込み」
- ・「九州大学域学連携実績報告」

議題3 関連

- ・「平成28年度宇目地域振興課関係補助事業」

9 問い合わせ先

担当課 地域振興部 宇目振興局 地域振興課 地域振興係

電話番号 25-4111